

やまきたまち 議会 だより

# 議会のおと

P 2・4…景観条例制定で  
美しいまちづくりを

P 16～17…初めての車座集会  
議会報告会



# 景観条例制定で 美しいまちづくりを

6月定例会  
質疑を  
ピックアップ

## 景観条例のポイント

景観条例制定にあわせ、「自然環境と地域資源を活かした魅力ある景観づくり」を基本理念とした**山北町景観計画**を策定。

1. 町の特性を活かした「良好な景観」を整備・保全する。
2. 町民・事業者・行政の協働による景観づくりを推進する。
3. 交付金を活用した、事業が可能になる。

今定例会では、景観条例制定を主に、条例改正5件、一般会計補正予算等を審議し、全て原案通り議決した。また、会期最終日には、議員提出議案として議会会議規則の一部改正を上程し、全て原案通り議決した。

## 条例制定

### ○山北町景観条例の制定

**井上議員** 景観条例は、町内全域とするのでなく、地域を特定した計画の検討はされたか。

**都市整備課長** 都市計画で、景観に関する事項が随所にうたわれている。条例と計画策定により、交付金活用が可能になることを考え、町内全域とした。

**井上議員** 町内全域が計画区域とされている。災害に強い山づくりを考える際の影響は。

**都市整備課長** 災害については、景観より優先して対応されるべきと考えている。林地開発は、県が窓口で、小規模な事業は、適宜町で対応する。

**石田議員** 町民及び事業者は、良好な景観の形成に関する町の施策に協力するべきとある。これにより、開発や商工業発展の妨げになるような心配はないか。

**都市整備課長** 現状、開発指導要綱の中で規定されており、本条例で足かせになるような事はない。

※総務環境常任委員会に付託  
(審査内容は4ページを参照)

# 女性のあなたも議会に

～議会会議規則改正～



## 議員発議

議会会議規則に

出産に関わる項目を規定

○山北町議会会議規則の一部を改正する規則の制定

議会会議規則では、議員が本会議などを欠席する際の理由に、女性議員の出産については規定されていなかった。

今後、女性が活躍できる環境の整備が必要であるため、議会会議規則の一部改正を行い、出産についての規定を制定した。

全員賛成で可決。

## 山北町議会会議規則

### 第2条(欠席の届出)

議員は、事故のため出席できないときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに議長に届け出なければならない。

2 議員は、出産のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届を提出することができる。

※第2項を追加

## 補正予算

○一般会計

歳入歳出それぞれ403万6千円を追加し、歳入歳出47億6703万6千円とする。

主な歳入は、教育推進研究事業委託金、45万8千円、コミュニティ助成事業170万円、消防団員退職報奨金182万8千円増額など。主な歳出は、消防施設費41万5千円、社会教育費442万8千円等。

**児玉議員** 教育推進研究事業委託金豊かな学びの支援推進事業の内容について詳細な説明を。

**学校教育課長** 平成28年・29年の2年間、継続して研究を続けてきた。課題の成果を高めるため、更に2年間研究継続の必要性を具に訴え、町内全ての小中学校で継続した研究が可能になった。

全員賛成で可決。

# 景観条例の制定を

## 総務環境常任委員会にて審査

**藤原委員** 条文に再三でてくる、「良好な景観」の定義についてどう考えているのか。町民に説明する際、必要になるのでは。

**井上委員** 山林開発や維持管理はどのような考えか。条例により、縛りがきつくなるかあるか。

**都市整備課長** 条例に「景観の形成」がうたわれており、景観法の中でも、一般的な言葉として取り扱っている。特に条例中で定義はしていない。

**都市整備課長** 開発行為そのものが景観に配慮したものであるため、今まで以上に縛りがきつくなることはない。さらに、間伐等の通常の維持管理については、適用除外となっている。

**瀬戸(恵)委員** 土地の区画形質変更は適用除外となっているが、その内容は。

**都市整備課長** 土地の区画形質変更とは、

都市計画法においての開発行為で、開発に関する事案は、条例において適用除外とすることである。

**渡辺委員** 景観計画区域は町全体とこのだが、今までも丹沢大山国定公園等において、自然公園法などの他法令での縛りがあると思うがどうか。

**都市整備課長** 国定公園内においては、現在でも自然公園法などの縛りが厳しいため、景観条例では、今まで以上の縛りは考えていない。



景観を彩る「ざる菊ロード」斑目地区

**府川委員** 景観については、努力義務の意味合いが強いが、指導はどのように考えているか。

**都市整備課長** 届出をしてもらった後、景観計画に照らし合わせ不具合が無ければ認定証を発行し、問題があれば方針に沿って指導等をしていく。

**瀬戸(恵)委員** 放任農地は、どのように対応するのか。

**都市整備課長** 耕作放任農地の草刈などは、問題ない。土地に木が生えていて伐採するような場合は、届出してもらおう。何れにしても、その時の状況に応じて対応する。

以上で質疑を終了し、採決の結果、全員賛成で了承された。

# 所得税法第56条見直しに、明確な説明得られず不採択に

## 請願

請願第3号 所得税法第56条を見直すことを求める意見書を採択することの請願書

◎ 請願者 神奈川県商工団体連合会  
婦人部協議会 会長 山岡 和紀子  
紹介議員 庄野京子

## 総務環境 常任委員会 審査報告

### 請願趣旨

小業者の営業は家族全体の労働によって支えられています。しかし所得税法第56条は、家族従業者の働き分（自家労賃）を必要経費として認めていません。

よって、意見書の提出を強く要望します。

### 審査経過

**渡辺委員** 意見書では見直しとなっているが、真意は「廃止」であるとの、庄野議員の発言があった。請願書が違うということなら、審議が出来ないほどの問題だがどうなのか。  
**庄野議員** 「見直し」でお願いします。

**井上委員** 庄野議員の説明からは、「何をどうしたいのか」ということが何も伝わってこない。どのように話を進めたらよいか。  
**庄野議員** 56条は、業者夫人の働きを認めない差別的税制であることです。

請願・陳情は、町政等についての意見や要望があるとき、誰でも提出することができます。請願には紹介議員が必要ですが、陳情には必要ありません。

### 以上で庄野議員の説明

が終わり、町民税務課長より本件に関する課税状況等の説明がされました。

**町民税務課長** 所得税法第56条関連の課税状況は平成29年は白色専従者0人、青色専従者29人、平成27年は白色専従者1人ですが、平成28年に青色申告へ変更している状況です。

以上で質疑を終了、採決に入り、請願第3号は賛成者なしで不採択となりました。

# 消費税増税中止に、明確な説明得られず不採択

## 請願

請願第4号 国に対し「消費税増税中止を求める意見書」等の提出を求める請願書

◎ 請願者 消費税廃止神奈川県各界連絡会  
三浦 謙一  
紹介議員 庄野京子

### 請願趣旨

政府は2019年10月消費税率10%引き上げを行う姿勢を崩していません。消費税増税ではなく、税金の集め方や使い方を見直し、軍事費や大型公共事業を減らす。暮らしや社会保障、地域経済振興優先に税金を使い、内需主導で家計をあたためる経済政策を取るべきです。よって、消費税10%への引き上げ中止を求める意見書を国に提出することを求めます。

### 審査経過

**小栗委員長** 国の消費税の金額や軍事費や公共工事費の調査はしているのか。  
**庄野議員** 調査しておりません。  
**小栗委員長** 平成29年の消費税総額は、17兆1380億円、公共工事は5兆9763億円、防衛予算5兆1251億円、社会保障費は32兆4735億円で、仮に軍事費と公共投資を絞っても社会保障が成り立たない。

### 府川委員

なぜ消費税増税に反対なのか。8%から10%に上がることが反対なのか、または消費税そのものに反対なのか。  
**庄野議員** 消費税を5%に戻すことです。

**渡辺委員** 庄野議員の説明は個人的見解を述べているように感じる。公私をわきまえた中で説明してほしい。  
**小栗委員長** 紹介議員として請願の趣旨等をしっかり伝えてもらいたい。なにか意見はあるか。  
**庄野議員** ありません。

**瀬戸(恵)委員** 紹介議員とというのは、内容をよく理解し賛同した中でなるもの。それができないのであれば、安易になるべきではない。  
**小栗委員長** 庄野議員、何か意見あればどうぞ。  
**庄野議員** ありません。

以上で質疑を終了、採決に入り、請願第4号は賛成者なしで不採択となりました。

# 議案等審議の結果

## 第2回臨時会（5月15日）

件名	月日	審議結果	件名	月日	審議結果
専決処分の承認について （山北町税条例の一部を改正する条例の制定について）	5月15日	承認 （賛成全員）	専決処分の承認について （平成29年度山北町一般会計補正予算（第9号））	5月15日	承認 （賛成全員）

## 第2回定例会（6月4日～7日）

件名	月日	審議結果	件名	月日	審議結果
山北町景観条例の制定について	6月7日	可決 （賛成全員）	平成30年度山北町一般会計補正予算（第1号）	6月5日	可決 （賛成全員）
山北町税条例の一部を改正する条例の制定について	6月5日	可決 （賛成全員）	山北町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	6月7日	可決 （賛成全員）
山北町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	6月5日	可決 （賛成全員）	平成29年度山北町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	6月5日	報告のみ
山北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	6月5日	可決 （賛成全員）	平成29年度山北町土地開発公社事業報告及び決算報告について	6月5日	報告のみ
山北町平山地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	6月5日	可決 （賛成全員）	所得税法第56条を見直すことを求める意見書を採択することの請願書	6月7日	不採択 （賛成少数）
山北町丸山地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	6月5日	可決 （賛成全員）	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」等の提出を求める請願書	6月7日	不採択 （賛成少数）

### ☆賛成・反対があった議案（第2回定例会）

議案	議員名（議席順）												
	熊澤友子	藤原浩	井上正文	児玉洋一	原憲司	石田照子	瀬戸顯弘	瀬戸恵津子	鈴木登志子	小栗直治	川村俊治	渡辺良孝	庄野京子
所得税法第56条を見直すことを求める意見書を採択することの請願書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○
国に対し「消費税増税中止を求める意見書」等の提出を求める請願書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○

※○は賛成、●は反対を表しています。府川輝夫議長は、採決に加わりません。

**お詫びと訂正** 議会だより5月号5ページ中、「補正予算・諸収入」の記事に誤りがありました。お詫びして訂正させていただきます。【正】（3行目）7,020㎡ 【誤】（3行目）720㎡



平成30年度 定期総会

平成30年4月27日（金）

国府津～御殿場間で交通系ICカードの利用を促進する議員連盟

「新たな活動に向けて」

御殿場線に交通系ICカードの導入に向け、昨年4月に発足された議員連盟の第2回総会を開催しました。

これまで議員連盟の活動はもとより、近隣市町首長等からなる御殿場線活用推進協議会の活動が実り、2019年春から御殿場線下曽我駅～足柄駅の区間においてICカードの利用エリア拡大が発表されました。

しかし、JR東日本エリアの国府津駅からの乗り換え、いわゆる「またぎ」利用の課題が残ります。

御殿場線として、今後も新たな課題の解決に向け、引き続きJR東海ならびにJR東日本への要望活動を継続してまいります。



# ズバッと問う！

## 一般質問

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、提案や意見を述べ、時には是正を求め、新たな施策方針等を問うものです。

原稿は、質問議員が作成しています。

ページ	質 問 事 項	質 問 議 員
8	官民連携によるオリーブの生産地づくりを	渡 辺 良 孝
9	消防団員確保のための環境整備を	石 田 照 子
10	自然とスポーツと観光が一体化したまちづくりを	児 玉 洋 一
11	町民の定住促進を図るため道路や駐車場の整備を図っては	原 憲 司
12	山北体育館の今後	瀬 戸 恵 津 子
13	1. 持続可能な開発目標（SDGs）への取り組みは 2. 女子トイレに擬音装置の設置を	熊 澤 友 子
14	コーディネーターを組織しまちづくりの調整役に	藤 原 浩
15	超高齢社会を迎えての対策と体制づくりは	鈴 木 登 志 子

# 問 官民連携によるオリーブの生産地づくりを



渡辺良孝 議員

## 答 栽培環境は概ね適地、しっかり位置づける



岸湯坂地区のオリーブ畑（4年生）

最近、健康志向からオリーブオイルの食用需要が高まってきている。また、観光資源や地域おこしなど、さまざまな視点からも着目されてきている。

栽培は、みかん生産地の気候風土のもとで可能と言われ、鳥獣被害を比較的受けにくい。みかん栽培より作業が軽減できることなどから、オリーブの生産地づくりを積極的に推進すべき

**問** 当町は、平成25年度から栽培を始めてきている。しかし、年間降雨量等で不安視されていた。オリーブ栽培の環境評価はどうか。

**答** 若干、日照時間は少なく、降雨量は多い。平均気温、風速、土壌は適地の条件に合致している。栽培環境としては概ね適しているとの評価である。

**問** オリーブの生産地として定着させていくには、生産者の熱意・やる気を高める環境づくりが肝要である。今後、支援・育成のための町の姿勢を問う。

**答** 当町の耕作者は42人、1200本に増えてきた。これからは、栽培意欲のある方への支援を充実していく。それには苗木の導入から、補植に対する助成への転換や、新漬け用果実の出荷、搾油に対する支援など、収穫数の推移を適切に把握し新たな支援策を検討する。

**問** 健康長寿の方で、オリーブオイルの愛用者が多いことが分かってきた。健康づくりとして使っていくことはどうか。

**答** 絞ったての実からとれる油は、エクストラバージンオリーブオイルとして、健康に良いと言われている。健康づくりのため、町民皆さんが家庭で身近に親しんでいただきたい。



山北産のオリーブの実

**問** オリーブの木は植えれば未永く実が採れることから、持続可能な事業として栽培の注目度が高い。第5次総合計画に位置づけていくべきではないか。

**答** これまでの普及栽培を継続し、地域農産物のブランド化や、6次産業化の促進に繋がられるよう、第5次総合計画後期基本計画にしっかりと位置づけて推進していく。



清水谷ヶ地区のオリーブ畑

# 問 消防団員確保のための環境整備を



石田照子 議員

## 答 組織の再編等本団・分団と検討の必要あり

**問** 現在、団員の充足率は、86%である。また、14分団中11分団で定員割れをしており、団員の確保には大変苦労している。

**答** 近年、各地で大規模災害が発生していることを考えると、早急に対策を講じる必要があると思います、消防団員確保のための、環境整備について質問する。

**問** 町では76%の団員が被雇用者であり、日中の団員不足が懸念される。そこで、入団条件に町内在勤者も加えたらどうか。

**答** 平時の活動に機械器具点検や水利調査があるため、町民としてしている。

**問** 昨年度11人の団員が退団し、半数は町内在勤者である。活動範囲等を定め、経験も技術もある、消防団OBの協力を仰いだらどうか。

**答** また、分団員との区別のつくアイテムも必要では。

**問** OBの協力を求めているが、規定もアイテムもないので、今後、本団等とも相談して決めたい。

**答** 現在、出勤等の手当はいくら出ているのか。

**問** 年間15件ほどの活動があり、1人1件につき1000円支払われている。

**答** 手当を数字としてしっかりと示すことで、団員の確保につながるのではないかと。

**問** 把握出来るよう、分団長会議で伝えていく。

**答** 一番古い消防車はこの分団で、使用年数は。

**問** 第14分団で、20年使用している。次に替えるときは14分団が優先順位となっている。

**問** 消防自動車の耐用年数は、15年と言われている。買い替えの際には、水槽付ポンプ車を導入したらどうか。

**答** 常備消防の各署所に、1台ずつ配備されているため、考えていない。



20年働く消防自動車  
S 45・46年に建てられた詰所  
大規模災害に備え、計画的に更新を

**問** 消防詰所の老朽化も大きな問題。建て替えの際には、今後の女性団員増加を見込んで、女性用のトイレや更衣室も完備すべきではないか。

**答** 考えていきたい。

**問** 消防団協力企業への、表彰制度と、消防団協力事業所表示制度の導入を図ったらどうか。

**答** 表彰制度の導入は難しいが、協力事業所表示制度の導入については、先進事例を研究しながら、企業の意向を聞き検討したい。



# 問 自然とスポーツと観光が一体化したまちづくりを



児玉洋一 議員

## 答 関係自治体や民間団体と連携し積極的に取り組む

この先、ラグビーワールドカップ、東京オリンピックピックパラリンピック、ねりんピックかながわと首都圏を中心としたスポーツの祭典が連続で開催される。こうした大きな大会を見据え、町内に訪れる観光客を迎え入れるために、官民連携した積極的な取り組みが重要と思いい、以下の点を問う。

**問** 訪れる観光客を小田原や箱根方面だけでなく、足柄エリアから中川温泉に誘導できる具体的な取り組みは。

**答** 県西2市8町や隣接する静岡県・山梨県の町村とも連携し、インバウンドを含めた観光客を受け入れる環境づくりを進めていく。

また、(※)県西版DMO組織「かながわ西観光コンベンションビューロー」とも連携を図りながら、町の観光資源の情報提供もしていきたい。

**問** 自転車ロードレースや丹沢湖畔のSUP(スタンドアッパドルボード)、足柄峠走などの体験会や普及啓発に向けた具体的な考えは。

**答** 自転車だけでなく、山北町ならではのスポーツを、健康スポーツ大会などのイベントを通じて、積極的に周知啓発に努めたい。

また、SUPは今年度より体験教室を開催し、足柄峠走、さくらの湯に入浴できるランニングポイントカードを発行するなど、今後も継続的にPRしていく。

(※)DMO組織  
官民などの幅広い連携によって、地域観光を積極的に推進する法人組織。



手軽に楽しめるSUPで丹沢湖畔をスイスイと

**問** (※)ねりんピックかながわ2021に向けた、今後の取り組みは。

**答** 大会参加種目として、現在町では「ウォークラリー」をエントリーしているが、まだ決定ではない。

今後、県や他市町村と調整しながら、町の自然と未病の戦略的エリアの特徴を活かしたスポーツの検討と同時に、関係団体と連携した観光振興に取り組む、宿泊客を誘致できるよう進めていきたい。

(※)ねりんピックかながわ2021  
厚労省主催の全国健康福祉祭。  
60歳以上の方を中心に、世代を超えたスポーツと文化の交流大会。毎年全国各地で開催される。

**問** 山北産木材を利用した誰もが楽しめるニュースポーツ(※)「Kubb(クップ)」の普及促進を。

**答** 現在、青少年指導員を中心に、小学生の野外活動研修会等で「Kubb」をレクリエーションとして紹介している。

今後、この競技の認知度を見ながら、山北町の新しいスポーツとしてスポーツ推進委員等と相談しながら検討していきたい。

(※)Kubb(クップ)  
薪を投げあい、相手の角材(クップ)を倒したチームが勝利となる誰でも楽しめるスポーツ。



山北の木材を使って、町の新しいスポーツに

# 問 町民の定住促進を図るため道路や駐車場の整備を図っては



原 憲司 議員

# 答 県や町民等と調整し、町民の定住促進を進める

**問** 若い人たちの通勤の利便性を確保するため、県道山北藤野線の中川地区から箒沢地区の間に自動車の待避所として4か所ほどの拡幅を行い、自動車通行の利便性を図り、通勤に支障のないよう道路整備を県と協議し、進めてはどうか。

当町の人口は、昨年4月より279人減少している。議会では、4月に三保、清水、山北、共和、岸、向原地区の6会場で議会報告会を開催し、町民の方々から多くのご意見をいただいた。

若い人たちの働き場所がなく、町外へ多くの若者が転出しているため、生活環境を整備し、にぎわいのある町づくりを推進し進める取り組みについて質問する。

**答** 県道山北藤野線の玄倉寺から嶽山橋までは、県が障がいとなる木の伐採や注意看板・防護ネット設置等の安全対策を進めている。

また、平成27年11月から県、町及び富士急湘南バスの3者で「県道山北藤野線改良計画検討会」を発足し、狭隘箇所解消に向けた協議を進めており、平成30年度から順次、工事を進めていく計画である。

県道山北藤野線は、通勤・通学で使用する重要な生活道路であると同時に、災害時における大事な路線であることは、町も十分認識している。

今後地域にとって利便性・安全性の高い道路となるよう、県に要望するとともに、地元とも調整を密にしていく。

**問** 町の若い人たちは、町内以外の都市に勤務する者も多く、現状は御殿場線か、家族の送迎などで通勤している。

ただ、御殿場線は豪雨や強風などにより、運休や遅延の発生も多い。

定住する若者を増やすため、また通勤の利便性確保のために、小田急線の新松田駅か開成駅の周辺に山北町営の駐車場を設置してはどうか。



狭い道が続く県道山北藤野線（中川地区）

**答** 小田急線沿線駅に町営駐車場を設置することは、定住総合対策における交通利便性の向上を図るための1つの手法として、若者子育て世代の定住促進に繋げることができると考えるが、既に民間駐車場を利用して利用の方々の調整や御殿場線の利用者の減少、山北駅や東山北駅の賑わいの影響などの課題もある。

今後、鉄道やバスの輸送力増強に取り組みとともに、山北駅周辺の賑わいなども念頭に入れながら新たな交通手段等の検討を含め、町民の意見を伺ってきたい。



町外へ通勤するのに不可欠な御殿場線

原稿は、質問者本人が作成しています。

# 問 山北体育館の今後



瀬戸恵津子 議員

## 答 適正な規模の施設を建設予定

町の将来像である「みんなできつくる 魅力あふれる元気なまち やまきた」の実現にむけて取り組んでいるところだと思つて、人口減少が著しい自治体では、将来的に公共施設の維持管理が、難しくなると想定される。当町でも将来を見据えたなか、山北体育館の廃止に伴う解体工事や、今後の建設についての考え方を質問する。

**問** 解体工事期間、進め方は。

**答** アスベストの含有の可能性があったため、30年度当初予算でアスベスト含有調査の費用を計上した。4月に調査したところ、含まれていない事が判明した。解体費用を9月議会で補正予算として計上する。受託業者決定後、年度内に解体して、31年度に検討し、32年度に着工予定。

**問** 今まで体育施設は、広域に他町の施設を利用する事や、町内学校施設を活用していく事により、建設は、考えていないと聞いていた。今後の考え方を示すべきではないか。

**答** 解体しないと危険なので、壊す事となった。大型の総合体育施設は、用地の確保、財政面で難しいため、武道場や集会所を備えた施設を考えている。町イベントや行事での利用を考慮して、木造のようなイメージを描いている。建設は利用団体や地域住民、専門家の意見を聞きながら進めていく。



昭和33年に完成した山北体育館

**問** 体育施設について若者や子育て世代の希望は把握されているか。

**答** 現在は、柔道、杖道、剣道等の武道が考えられるが、その他スポーツの利用も視野に入れる。幅広い年代の方々のご意見を聞き、町にとって適正な規模で生涯スポーツ活動にも対応した、利用しやすい施設を建設したいと考えている。

**問** 建設費や維持管理費用が将来世代に負担を及ぼすようなものはいかがか。

**答** 身の丈に合ったもので、将来に負担がかからないものを造っていきたい。

# 問 持続可能な開発目標(SDGs)への取り組みは



熊澤友子 議員

## 答 SDGsに合致する事業を検討する

持続可能な開発目標（SDGs・エスディーゼイズ）は、2015年9月の国連サミットで採択され、国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた目標。

貧困問題、教育、平等、地球環境、経済活動、人々の暮らしなど、持続可能な開発のために17の目標が設定されており、2030年までに「誰一人取り残さない」世界を実現しようというチャレンジである。次の点について伺う。

**問** SDGs についての見解は。また、各課で一つの事業に目標を持って取り組む考えは。

**答** 現在、町では具体的なSDGsの取り組みは行っていないが、行政の中にもSDGsの考えに合致する事業も多くあると考える。今後、県と連携を取りながら、いろいろな事業展開を検討していく。



SDGsの17の目標

**問** WHO（世界保健機関）が主導する、高齢者に優しい地域づくりに取り組むに、山北町も参加しているがどのように取り組むのか。

**答** 外出支援サービス事業、緊急通報サービス事業等様々な事業展開をしている。今後は、高齢者に優しいまちづくり行動計画を策定する予定で、高齢者が参加する仕組みづくりを盛り込むなど、全力で取り組んでいく。

**問** 高齢化が進む中、交通手段が一番問題となる。町長の公約でもあった、「ドアツードア」の実現は。

**答** 町では、いろいろなバス等が運行されている。利用しやすく、継続できるシステムを検討する。



町の循環バス

**問** 公共施設等に設置する考えは。

**答** 庁舎と健康福祉センターは設置しており、生涯学習センターは今年度設置した。

**問** 今後、パークゴルフ場等に設置する考えは。

**答** パークゴルフ場などについては、検討する。

### 女子トイレに擬音装置の設置を

日本人の女性は恥じらいからトイレの音消しのために、水を二度流し使用することが多い。擬音装置を設置することによ



設置された擬音装置

# 問 コーディネーターを組織し、まちづくりの調整役に



藤原 浩 議員

# 答 行政が先導して、創設する考えはない

町は人口減少問題解決のために民間が主体的に地域課題の解決に取り組み組織づくりと、それを担うコーディネーター養成が必要と考え以下提案をする。

**問** まちづくりに関わる多様な人材や組織をつなぎ、官民一体となったまちづくりを推進する組織、(仮)山援隊を創設し、行政と住民・企業等の橋渡しを行い、課題解決の一助にしたらどうか。

**答** 官民連携組織は、行政が先導して創設しても、効果的に機能するとは思わない。

新たに組織するより、町づくり活動を行っている方々と意見交換し、必要な支援をすることが望ましい。



最近、目立つ若手経営者の活動。熱のこもった会議

**問** 行政主導ではなく、民間が主導する組織が、町の課題解決に取り組んでいくのであれば、町は支援する考えか。

**答** 民間主導の組織の考えが明確で、町の施策に合致していれば、是非支援していきたい。



4月に起業した、移住者の若者。後に続く起業者を期待する。

**問** 山北に移住や起業を考える人が増えている。コーディネーター養成講座を年数回開き、養成を図ると共に、その存在を町内外に示し課題解決の一助にすべきと考えるがどうか。

**答** 例えば、大野山で山地酪農を起業し、移住された方の様に、目標を持って活動される方等、町民が主体的に地域課題に取り組めるよう、国・県の制度や産官学の連携等によるコーディネーター養成や情報発信を推進していく。

**問** 「悩みを相談できる相手がみつからない」という移住者の声を聴く。移住者が、満足し、子や孫の代まで住み続けて頂けるよう、移住後悩み相談等の生活サポートを担う半官半民の組織を立ち上げるべきでは。

**答** 定住協力隊の活動の一つに、移住者交流会があり、空き家バンクを利用した移住者同士、移住者と地域住民との交流により、問題解消を図っている。今後更なる充実を図っていくと共に、空き家バンク利用者や利用者以外の移住者の方々にも参加を促し、定住相談センターの周知やSNS活用による情報発信などで、移住の様々な活動状況を見えるようにし、移住に伴う不安や、悩みが解決できるよう支援していく。

# 問 超高齢社会を迎えての対策と体制づくりは



鈴木登志子 議員

# 答 安心して暮せる環境をさらに整えていく

山北町の高齢化率（4月1日現在）は38%となり、推定より急速に進み超高齢社会を迎えている。

「第7期高齢者福祉計画・介護保険計画」が平成32年までの3年計画で策定された。

超高齢社会を乗り越えるための対策と体制づくりを伺う。

**問** 国が進める政策の柱とも言える「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、町の方向性は。

**答** 「安心のライフスタイル地域で暮らし続けたい」を基本理念とし、健康な高齢者の方など様々な状況にある高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けていくための体制を整え、介護予防事業の拡充や在宅医療・介護の連携、生活支援サービスの整備、認知症対策の推進を図るという方向性を示している。

**問** 総合事業による介護予防の推進について

①基本チェックリストによる対象者の把握が課題とあるが、何が課題か。

②一般予防事業の介護予防教室の今後の考え方は。

**答** ① 総合事業のサービスは訪問型と通所型サービスのみとなっているため、相談の段階でチェックリストを実施しても、その後の状況や生活環境が、すでに介護保険サービスが必要なお状態になっている場合など、チェックリストのみでは状況に応じたサービスに繋げることが難しい。

② 高齢者が外部との関わりを持つ重要な活動であり、参加される方々や教室の運営を支えているボランティアの高齢化、ボランティアの新規加入が無いことなど、様々な課題を抱えているが事業は継続していきたい。



介護予防塾で元気に体操

**問** 認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう認知症施策の推進について、今後の課題と対策は。

**答** 保健師などの複数の専門職が初期段階の認知症の方を訪問し、集中的・包括的に支援し、早期診断・早期治療に繋げる活動を行っている。認知症高齢者の介護は家族の負担が大きく、支援には本人のみならず、家族への配慮も重要なため、認知症



みんなでおしゃべりタイム

の方やその家族が集い、日常的な問題を専門職等へ相談するための場として「認知症カフェ」の設置を検討している。

原稿は、質問者本人が作成しています。

# 熱き対話を!

4月9日～20日まで、町内6会場で開催初の車座形式で、思い思いのご意見を伺うことが出来ました。参加された皆様からは、意見が言いやすく、とてもよかったとの、嬉しいご意見を多数いただきました。

## 共和・岸・向原 意見が交わされる



### 三保会場 (20人)

中川から箒沢間4か所の、待避場所拡幅を、県に要望して欲しい。

循環バスを、三保地域にも、走らせることは出来ないのか。

他地区で捕獲した熊を玄倉の山に放したが、本当に安全なのか。

### 清水会場 (22人)

御殿場線ICカードを国府津駅まで利用できるようにしてほしい。

イベントで渋滞する時や災害時に、山北藤野線、秦野峠林道、山北山中湖線の開放は出来ないのか。

調査、検討が多い。議員はスピード感をもって仕事すべき。

### 山北会場 (22人)

議会の様子を動画で見られる様にすれば、議員の質が高まるのでは。

スマートICが出来るメリットは。体育館はどうなるのか。

子育て支援に関する施策は、現在子育て中の方に参画してもらいたい。

だき、ありがとうございました。

の議会・委員会活動に活かしてまいります。

2018  
議会報告会開催!

# 車座集会で

議員定数へのご意見

面積は広いが、人口で考えると多い。しかし、地域に1人は選出したい。

定数を減らして、報酬を上げたらどうか。

少人数では委員会運営で突っ込んだ議論が出来ない。

町の問題、課題、将来性を議論して、議員定数を設定すべき。

人口減を理由に、定数を減らして経費を抑えるだけで良いのか。

チェック機能としての機能を考えるとある程度の人数は必要。

三保・清水・山北  
6会場で

共和会場 (15人)

森林振興の調査研究をしているようだが、現在の取り組み状況はどうか。

御殿場線ICカード導入も必要だが、町の特徴を活かした観光などの政策を検討すべき。

共和の福祉バスは便利だが、土日や緊急時の対応が課題である。

車座集会は、みんなが意見を言えて良かったが、テーマが多すぎる。

岸会場 (19人)

国民健康保険の運営が、県に移管されたが何が変わるのか。

循環バスの利用者が非常に少なく、費用対効果がか心配だ。

生活保護世帯への就学援助制度があるが、ひとり親家庭で、複数のお子さん育てている家庭は大変なので、さらに利用しやすいよう配慮してほしい。

向原会場 (29人)

ジビエの処理場を造って、働き場所を提供したらどうか。

自然を活かし、観光スポットをめぐるツアーなど、お金の落ちる仕組みを考えてはどうか。

ビジターセンター・薬草園の利用状況は。薬草園は、花や山菜、薬草を振る舞うには良い施設だと思っが。



たくさんの貴重なご意見をいた  
各会場でいただきましたご意見は、今後

# 若者と鳥獣被害対策を語る

～商工会青年部との意見交換会～

## 特 集

### 商工会青年部



### まち議員

商工会青年部と議員で意見交換会を行いました。

議会は、町民の声を聞き、町政に活かすよう、活発に活動を進めています。



商工会青年部のメンバー

総務環境常任委員会では、鳥獣被害対策を推進することにより、耕作放棄地を減らし、農業をしたい移住希望者や、農業をあきらめて転出してしまいう住民のために、人口減少の対策となるよう取り組みでいます。鳥獣被害対策をとおし、安心して住める山北町をめざし、産業の振興につながるよう町商工会青年部のメンバーと情報交換を行いました。



解体施設で説明を受ける商工会青年部員

熱海市の野生動物解体処理施設を視察した青年部のメンバーからは、静岡県の実情等の説明を受けました。議員からは、鳥獣被害対策について、先進地視察等、議会の取り組みについて説明をしました。

商工会青年部は、ジビエを産業とし、山北産ジビエが食べられる事に、大きな意味があると考えています。今後様々な方面から、ジビエの活用に関する働きかけを、町の事業者や議会と連携し、おこなっていききたいと考えているそうです。

## 町民ポスト

町民から議会へのご意見（7月3日受付、7月4日文書により回答）

### 意見

固定資産評価審査委員会委員の定数は、地方税法第 423 条 2 項で当該市町村の条例で定めると規定しています。更に同法第 423 条 3 項では、委員を議会が同意し、市町村長が選任する規程になっています。現在、山北町では、平成 28 年 3 月 3 日提出議案第 44 号で 1 人、平成 29 年 3 月 3 日提出議案第 28 号で 1 人、平成 30 年 3 月 2 日提出議案第 47 号で 1 人と議会では 3 人がすでに同意されています。更に町長が選任しています。山北町では、固定資産評価審査委員会条例が制定されていますが、地方税法第 436 条の規程に基づくものです。同法第 423 条 2 項による定数 3 人の規定が見つかりません。委員を 3 人選任した法律根拠を示してください。人口減少は、当町でも深刻な問題です。お互いに透明性、公平公正・中立、スピード、ガバナンス等に気を付けましょう。

### 回答

ご意見ありがとうございます。山北町税条例第 27 条において、固定資産評価審査委員会の委員の定数は 3 人と定められています。

# 県営「秦野峠林道」の通行制限緩和と機能確保を ～秦野峠林道活用促進議員連盟（山北町議会・松田町議会）活動報告～



「県営秦野峠林道」とは昭和 45 年から総額 42 億 9 千万円を投じ、平成 7 年に完成した総延長約 15 km、幅員 5m の広域基幹林道。松田町寄地区と山北町玄倉地区を結ぶ、唯一の連絡道としての役割もあるが、現在、度重なる岩盤崩落や道路陥没等により一般車両の通行は全線に渡り、通行止めとなっている。

県営秦野峠林道の有効活用には、平成 28 年に松田町と山北町両議会議員により発足した「秦野峠林道活用促進議員連盟」また、平成 29 年からは松田・山北両町の行政・議会・地元自治会などからなる「県営秦野峠林道に関する広域連携協議会」を発足し、災害時の迂回路やイベント利用時の渋滞解消策として、一時的な開放を毎年県に要望をしています。

県としてはこの林道が両町を結ぶ連絡道としての認識は薄く、あくまでも林業活動専用利用される林道であり、通行制限の緩和や一般車両が通行出来る道路整備は実施しないとの回答です。  
しかし、この林道開通にあつては、両町はもちろん、土地所有者や地元関係者など、これまで多くの方が携わっており、巨額な費用を投じた割には、有効に活用がなされていません。



閉ざされたゲート(玄倉地域)一時的な開放を求めている



町境に建てられたた記念碑背面の銘板

竣工時は集落を結ぶ連絡道として両町の地域発展を祈願した文面が刻まれている。

今後、いつ起こるか分からない大規模災害時の地域住民の孤立化対策や、本来の目的のひとつである両町の地域と地域を結ぶ連絡道として、広域連携協議会と議員連盟で一体となり継続的に県に要望をしていきます。

# 活きいきひろば

## 絆を深める夏祭り

### 原耕地自治会長

### 富田 秀次さん



毎年、秋葉神社と自治会が協力し、7月中旬に夏祭りを開催しています。火伏の神が祭られた秋葉神社は、昭和51年、世附地区から三保ダム建設に伴いこの地に移転してきました。氏神様を中心に地域がまとまろうと始まった夏祭りですが、毎年、外に出て行った子ども達が家族を伴って参加し、懐かしい同級生との再会の場にもなっています。

今では、各種団体が解散する中、青年会が大きな力となり、祭の盛り上げ役となっています。焼きそば、フランクフルト、焼き鳥、かき氷、ヨーヨーと暑い中での準備は大変ですが、ビンゴゲームや抽選会に、子どもからお年寄りまでが一喜一憂、大いに盛り上がりを見せる、楽しみながら交流できる大切な行事となっています。

(表紙を含む3枚の写真提供は石渡誠一さん。)



## 議会の傍聴においでください

### 第3回定例会(予定) 9月5日(水)~

庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ 議会事務局 **75-3653**

議会ホームページ

山北町ホームページ

→ [行政情報](#) → [町議会](#)



## 編集後記

8月は丹沢湖の花火大会や、各地域の祭りが開催され、ひととき町中に賑わいが戻ってきました。我々議員も、議会活動、議員活動、研修、地域の活動にと暑さに負けず励んでおります。広報分科会では、年2回の編集委員のための研修で学んだことを活かせるよう鋭意努力し、実践しているところです。いかに皆様の手に取っていただけるかを重点に、編集しています。本号で取り上げた議会報告会は、車座集会として初めての実施でありましたが、皆さまの声を聞きすることに主眼が置かれ、充実した内容だったと確信しています。

紙面に限りがありますので、要約したものを掲載しました。皆様からの貴重なご意見ご感想を、お待ちしております。

今後より良いまちづくりを目指した活動の内容を、お届けできる紙面づくりに取り組みますので宜しくお願いいたします。

(瀬戸恵津子)



広報分科会

会長 藤原 浩

副会長 熊澤 友子

委員 井上 正文

委員 児玉 洋一

委員 瀬戸 恵津子

委員 庄野 京子